

3. 2017年度活動の概要の記述

「英語教育を人間教育の立場から考える」という観点に立ち、英語教育学・英語学研究者の視点と英米文学研究者の視点の双方から、大学英語教育における効果的な文学教材の使用を研究している

2017年度は4月、6月、10月、12月、2018年2月の5回、同志社大学烏丸キャンパスにおいて、主として第4土曜日の午後開催した。内容は以下のとおりである。

4月

発表：蛇持純子 先生（同志社大学）「映画教材『プラダを着た悪魔』の授業報告ーリーディングとコミュニケーションのクラスにおいてー

発表：松本真治 先生（佛教大学）「佛教大学英米学科2017年度新入生を対象とした文学と語学に関する意識調査」

6月

発表：高瀬敦子先生（関西学院大学）「小学生からシニアの人まで虜にする多読本の魅力」

発表：赤尾美和先生（近畿大学）「多読と洋楽を取り入れた授業の実践ー再履修クラスを例にー」

発表：釣井千恵先生（桃山学院大学 国際教養学部）
「大学生（中・上級レベル）を対象にした多読教育実践」

発表：桜井延子先生（京都産業大学 外国語学部）「MReaderのトリセツ」

10月

発表：五十川敬子 先生（同志社大学）
「ロアルド・ダールの『少年』を1年間かけて読みとおす授業の実践報告」

発表：玉井史絵 先生（同志社大学）
「教室で読むAlice's Adventures in Wonderland」

12月

発表：江藤あさじ 先生（同志社大学）「『訳す』から『読む』へーオーウェルの『動物農場』を使用して」

発表：須田久美子 先生（北陸大学）「オスカー・ワイルド作「幸福の王子」原文を用いた授業の実践報告ー創造力と英語力の伸長」

講演：幸重美津子 先生 京都外国語大学（専門学校）「映像資料を活用した英米文学史入門クラスの試み」

2月 (2018年)

発表：Susan E. Jones 先生 (神戸女学院大学) 「Teaching Translation」

発表：田中敦子 先生 (関西外大) 「いまどきの学生に向けてのイギリス文学史とは」

講演：伊藤佳世子 先生 (京都大学) 「英語学習者音声データの収集と自動評価の検討
ー母語話者による評価と自動評価の違いを中心にー」

以上のご発表、ご講演により会員一同、さらに研鑽を深めることができた。次回の4月例会は2018年4月28日(土)に同じく同志社大学烏丸キャンパス志高館において開催予定である。